

*** 記 事 ***

例会記録

一月例会 平成十二年二月二十二日 (土)

順天堂大学医学部九号館八番教室

- 一、永井潜・断種法史上の人びと (その三) 岡田 靖雄
- 一、古写本『長崎吉雄先生秘伝』について 中西 淳朗

二月例会 休会

- 三月例会 平成十二年三月二十五日 (土)
- 順天堂大学医学部九号館八番教室
- 一、明治期におけるプロテスタント・ミッションの医療伝道 高安 伸子

一、医学館の学問の形成について
四月例会 平成十二年四月二十二日 (土)

- 順天堂大学医学部九号館八番教室
- 一、近代病院薬剤師の職業化 (プロフェッションナリゼイション) の歴史 辰野 美紀

一、橋本伯寿『断毒論』の刊行年について
五月例会 平成十二年五月二十七日 (土)

順天堂大学医学部八号館三番教室

1、Grace Elizabeth Alt による第二次世界大戦後の看護改革 大石 杉乃

一、火薬の発明と中国伝統医薬学 小曾戸 洋
六月例会 平成十二年六月二十四日 (土)

順天堂大学医学部九号館八番教室
一、吉益東洞と道家・道教思想 館野正美・大山昌道
一、系統解剖学の起源とヴェサリウスの解剖学

七月・八月例会 休会

九月例会 (神奈川県地方会第十七回学術大会と合同)

平成十二年九月三十日 (土)
横浜市健康福祉総合センター六階第一、二会議室

- 一般口演 日野 英子
- 一、古代アテネの人々の生活用水 大久保慎一
- 一、糖尿病の歴史 佐分利保雄
- 一、根岸外国人墓地の墓碑銘 小曾戸 洋
- 特別講演 漢方の歴史

十月 総会
十一月例会 平成十二年十一月二十五日 (土)

順天堂大学医学部八号館三番教室
一、戦後一農村における健康管理活動

一住民の健康意識はいかにして確立されたのか
一、医方巻石秘録にみられる洋式外用薬について 杉山 章子

中西 淳朗

消 息

合同地方会 平成十二年九月二十三・二十四日(土・日)
 岡山県新見市(会長 石田純郎)

横浜市大にシモンズ碑建つ

大滝 紀雄

日本医史学会広島支部・関西支部・日本医史学会(本部)・
 新見公立短期大学共催、京都医学史研究会・日本医史学会新
 潟支部共催(新見公立短期大学創設二〇周年記念)

一般講演(二十三日)

- | | |
|---------------------------|-------|
| 一、岡山県八束村時代の湯慎ます | 進 彩永 |
| 一、仲田家の医人たち | 仲田 永造 |
| 一、赤沢乾一と芸備医学会 | 江川 義雄 |
| 一、高梁出身の医師 原玄一郎 | 原 一郎 |
| 一、石阪秋朗賛 佐藤正持画 ヒポクラテス像について | 杉立 義一 |
| 一、新見の庄について | 上仲 林造 |
| 公開講演(二十四日) | |
| 一、岡山のオランダ人 日蘭修交四〇〇年 | 石田 純郎 |
| 一、岡山の外科医 | 小田 皓一 |
| 一、新見出身の生理学者 加藤元一 | 中山 沃 |
| 一、新見湯川寺の僧 玄賓の伝説 | 原田 信之 |

日本の医学は明治初年以降、第二次世界大戦終了までドイツ医学の影響を受けていた。横浜では事情が異なり、むしろ米英型の医学が大勢を占めていた。その理由は開港とともにアメリカ、イギリス系の外人医師が多数横浜を訪れたことによる。その中でもアメリカ人宣教師兼医師であったヘボンとシモンズの影響が目立っている。二人とも安政六年(二八五九)来日、医師として明治初期に活躍、ヘボンは医師としての本業以外に、『和英語林集成』の出版、ヘボン式ローマ字の考案、指路教会の設立、明治学院の創立、新約聖書、旧約聖書の翻訳など幅広い分野で活動している。

一方、シモンズは明治五年、現代の伝染病予防法に相当する防恙法の建議書を神奈川県令に提出した。明治七年二月野毛山上に十全医院(横浜市大病院の前身)が建設されたのを機会にその全権を任せられ、診療、教育、研究に専念した。同年天然痘流行時に種痘を積極的に実施し、十全医院を種痘本局とした。明治八年以降、十全医院で系統解剖及び局所解剖数回実施、開業医に説明した。また二部の医学雑誌、『梅毒小箒』と『診筈雑記』を発刊した。医学教育の点ではシモンズの方